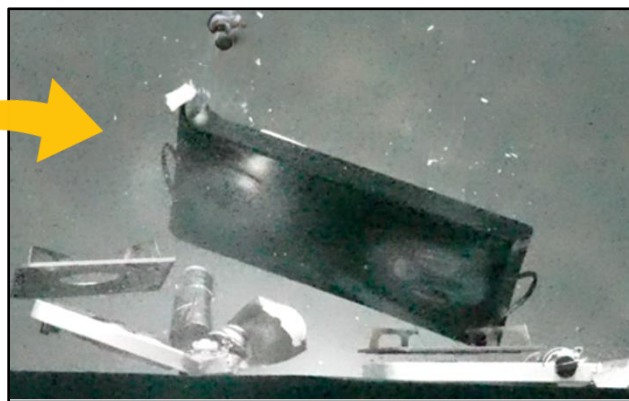
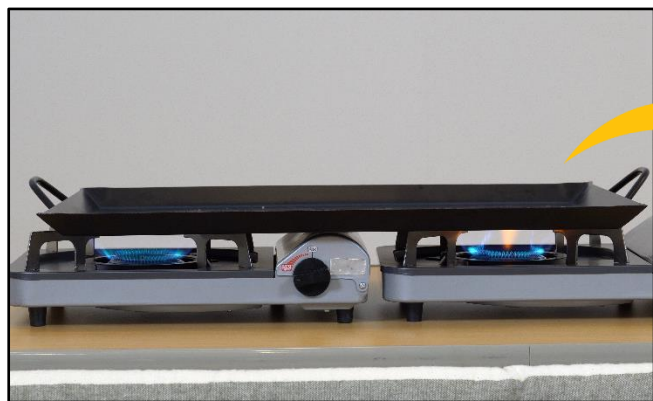




## “NO MORE ボンベ破裂”

### ～約4割が誤使用・不注意「カセットこんろの事故」を防ぐ3つのポイント～

家族団らんの機会が増える年末年始の到来です。カセットこんろは、お鍋や焼肉などの調理はもちろん、防災用品としても使用できる大変便利なものですが、使用方法を間違えると重大な事故につながるおそれがあります。独立行政法人製品評価技術基盤機構 [NITE (ナイト)、理事長：長谷川 史彦、本所：東京都渋谷区西原] は、年末年始に向けて「カセットこんろの事故<sup>※1</sup>」を防ぐために注意喚起を行います。



カセットこんろを2台並べて使用してカセットボンベが破裂した様子  
【撮影協力：神戸市消防局】

NITE に通知があった製品事故情報<sup>※2</sup>では、2014年度から2023年度までの10年間にカセットこんろの事故は91件ありました。そのうち、調査が完了した86件の中では、使用者の誤使用・不注意が推定されるもの<sup>※3</sup>が約4割となっています。その中でも特に多いのが「カセットボンベが異常に熱くなるような誤った使い方をした」もので、過熱されたカセットボンベが破裂して死亡事故ややけどなどの人的被害にも発展しています。

災害時に命を守る防災用品としても重宝されるカセットこんろですが、燃料となるカセットボンベの中には可燃性ガスが使用されており、正しく取り扱わないと命を脅かすおそれもあります。事故を防ぐための3つのポイントを日頃から実践し、自分や大切な家族の命を守りましょう。

#### ■カセットこんろの事故を防ぐための3つのポイント

##### ①カセットこんろにカセットボンベを確実にセットする。

カセットボンベを無理に押し込まず、取扱説明書記載の向きや位置に従う。

##### ②カセットこんろを正しく使う。

カセットボンベが異常に熱くなるような誤った使い方はしない。

(例) カセットこんろを2台以上並べて使用しない。

##### ③カセットボンベはカセットこんろから取り外して、室内の40℃未満の場所に保管する。

40℃以上の高温下や熱源のそばには放置しない。

(※) 本資料中の全ての画像は再現イメージであり、実際の事故とは関係ありません。

(※1) 本資料では、カセットこんろに装着されていないカセットボンベ単体の事故もカセットこんろの事故として含めます。

(※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含みます。

(※3) 事故原因の特定までには至っていないが、使用者の誤使用・不注意が要因の一つとして推定される事故も含みます。

# 1. 事故の発生状況

NITE が受け付けた製品事故情報のうち、2014 年度から 2023 年度までの 10 年間に発生したカセットこんろの事故 91 件について、事故発生状況を以下に示します。

## 1-1. 年度別の事故発生件数

年度別の事故発生件数を図 1 に示します。近年まで件数は減少傾向にありましたが、2022 年度からやや増加傾向に転じています。今後もカセットこんろの使用機会が増えることで事故が増加するおそれがあるため、注意が必要です。

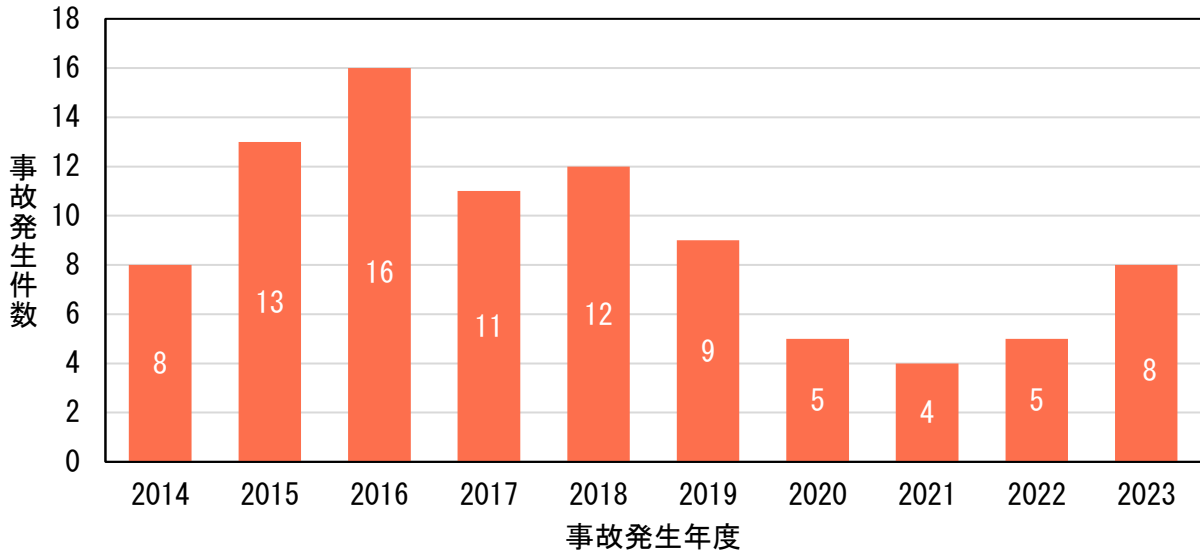


図 1 年度別の事故発生件数

## 1-2. 原因別の事故発生件数

調査中の 5 件を除いた 86 件の事故について、原因別の事故発生件数を図 2 に示します。「誤使用・不注意が推定されるもの」が原因の約 4 割となっており、事故を未然に防ぐために正しい使い方を確認することが大切です。

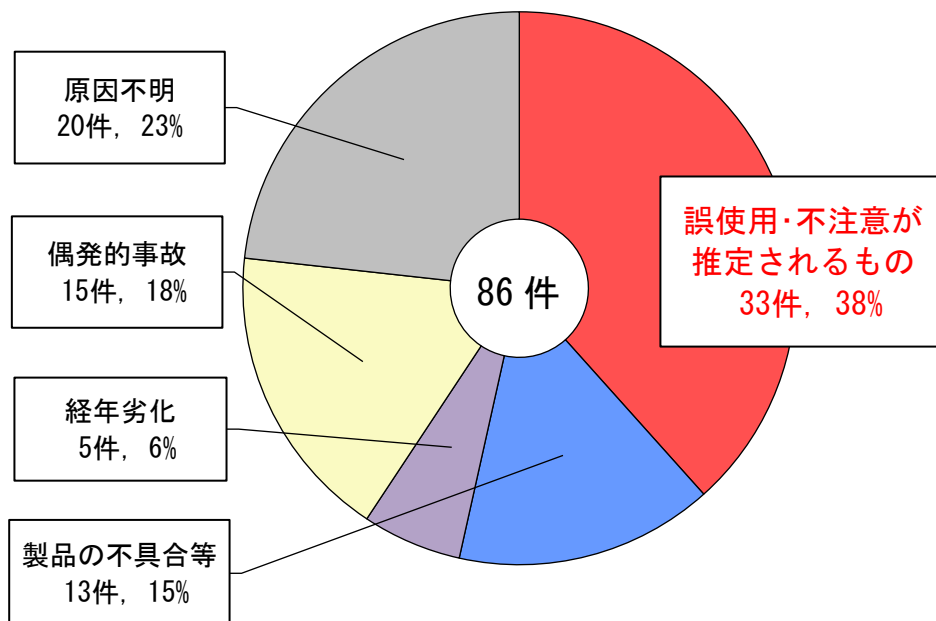


図 2 原因別の事故発生件数

### 1-3. 誤使用・不注意が推定される事故の内訳

「誤使用・不注意が推定されるもの」33件について、事故事象別の被害状況を表1に示します。「カセットボンベが異常に熱くなるような誤った使い方をした」ことでカセットボンベが破裂したり、「カセットボンベの装着が不十分等でガスが漏れたまま点火した」ことで漏れたガスに引火したりして、事故に至っています。

表1 誤使用・不注意が推定される事故の内訳と被害状況 ※()は被害者数

誤使用・不注意の内容	人的被害			物的被害		総計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	
カセットボンベが異常に熱くなるような誤った使い方をした	1(1)		8(18)	4	1	14(19)
カセットボンベの装着が不十分等でガスが漏れたまま点火した			4(7)	3	3	10(7)
火の消し忘れにより調理油が過熱されて発火した				3		3
カセットボンベを熱源のそばに放置する等して過熱した			1(9)	1		2(9)
その他			2(2)	1	1	4(2)

## 2. 事故事例

### ■カセットボンベの装着が不十分でガスが漏れたまま点火した

事故発生年月 2020年12月（香川県、80歳代・女性、軽傷）

#### 【事故の内容】

カセットボンベを装着して点火したところ、建物4棟を全焼する火災が発生し1名がやけどを負った。

#### 【事故の原因】

原因の特定には至らなかったが、カセットボンベの装着が不完全であったため、カセットボンベ接続部でガスが漏れ、点火操作時の火花が漏れたガスに引火したものと推定される。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード例】カセットこんろ カセットボンベ 装着

### ■カセットボンベが異常に熱くなるような誤った使い方をした

事故発生年月 2017年4月（宮崎県、年齢・性別不明、軽傷）

#### 【事故の内容】

屋外でカセットこんろを使用中、カセットボンベが破裂し、6名がやけどを負った。

#### 【事故の原因】

カセットこんろを2台並べ、一方のこんろのごとくを裏返してセットし、それぞれに比較的大きな鉄板を用いて調理していたため、ごとくを裏返した方のカセットボンベが過熱され、カセットボンベの内圧が上昇して破裂したものと推定される。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード例】カセットこんろ カセットボンベ 鉄板

### ■カセットボンベを熱源のそばに放置した

事故発生年月 2018年8月（神奈川県、70歳代・男性、軽傷）

#### 【事故の内容】

カセットボンベが破裂する火災が発生し、9名がやけどを負った。

#### 【事故の原因】

燃焼中の業務用こんろのそばにカセットボンベを放置したため、カセットボンベが過熱され、カセットボンベの内圧が上昇して缶が破裂し、噴出したガスにこんろの炎が引火して、事故に至ったものと推定される。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード例】カセットボンベ 破裂 業務用こんろ

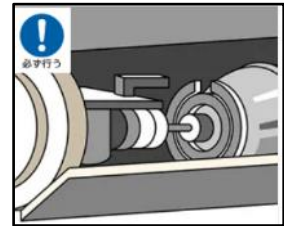
### 3. 気を付けるポイント

#### カセットこんろの事故を防ぐための3つのポイント

##### ①カセットこんろにカセットボンベを確実にセットする。

カセットボンベを無理に押し込まず、取扱説明書記載の向きや位置に従う。

カセットこんろにカセットボンベを装着する場合は、取扱説明書の指示に従って確実に装着してください。カセットボンベの装着を誤った状態で使用すると、ガス漏れが生じて火災に至るおそれがあります。装着後に異音や異臭などが生じた場合は、ガス漏れのおそれがありますので、直ちにカセットボンベを取り外して使用を中止してください。



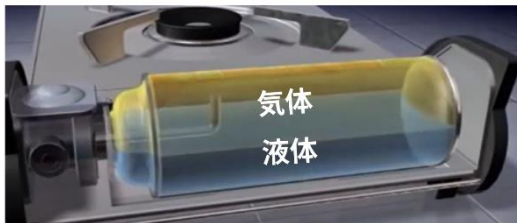
確実にセットする様子

##### ②カセットこんろを正しく使う。

(画像提供：一般社団法人 日本ガス石油機器工業会)

カセットボンベが異常に熱くなるような誤った使い方はしない。

カセットボンベの中には液化石油ガスが液体と気体に分かれて入っています。カセットボンベが過熱されてしまうと液化石油ガスが液体から気体になろうと膨張し、カセットボンベの内圧が上昇して限界を超えると破裂します。カセットこんろを使用する際は、取扱説明書の注意事項を守って使いましょう。



正しく使用しているとき



カセットボンベが過熱されているとき

(画像提供：一般社団法人 日本ガス石油機器工業会)



2台以上並べて使用しない

IHこんろの上で使用しない

炭の火起こしに使用しない

カセットボンベが異常に熱くなるような誤った使い方の例

##### ③カセットボンベはカセットこんろから取り外して、室内の40℃未満の場所に保管する。

40℃以上の高温下や熱源のそばには放置しない。

カセットボンベをストーブやこんろ、こたつなどの熱源のそばに放置してしまうと破裂のおそれがあり、大変危険です。カセットボンベのガスが出が悪くなったからといって、意図的に温めることも絶対にやめてください。カセットこんろ使用後は、カセットボンベを取り外し、室内の40℃未満の涼しい場所に保管するようにしましょう。



ストーブのそばに置かない

ガスこんろのそばに置かない

こたつの中に置かない

カセットボンベを熱源のそばに放置する例

## 事故事例・リコール情報を確認

### ○過去に発生した事故情報、リコール情報を確認する。

#### 【NITE SAFE-Lite (ナイト セーフ・ライト) のご紹介】

NITE はホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「NITE SAFE-Lite (ナイト セーフ・ライト)」のサービスを行っています。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称(製品)に関連する事故の情報やリコール情報を検索することができます。

また、事故事例の【SAFE-Lite 検索キーワード例】で例示されたキーワードで検索することで、類似した事故が表示されます。

<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-lite.html>



※製品事故情報を収集し、公開して社会的に共有して、事故原因の分析、評価や再発防止に活用していくことは重要です。そうした事故情報が活用されて、従来の基準が見直され、安全性の向上した新基準での製品づくりによって、関連事故の減少につながります。

もし製品事故に遭われたり、そうした情報に接したりした場合には、ぜひメーカー(海外製品であれば輸入事業者等)に情報提供いただくよう、ご協力をお願いします。

#### 【消費者庁のリコール情報検索サイトのご紹介】

「消費者庁リコール情報サイト」では、消費者向け商品のリコール情報を掲載しており、キーワードによりリコール情報を検索することができます。さらに、「リコール情報メールサービス」に登録することで、新規のリコール情報等が提供されます。

<https://www.recall.caa.go.jp/>



### お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構

製品安全センター 所長 大下 龍蔵

担当者 製品安全広報課 宮川 七重、山崎 卓矢、安元 隆博

Mail : [ps@nite.go.jp](mailto:ps@nite.go.jp)

Tel : 06-6612-2066

## 【参考1】PSLPG マークについて

日本国内で販売される、「カセットこんろ」をはじめとするカートリッジガスこんろは、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（液石法）」により、国に登録された第三者検査機関による検査を受けて国の基準に適合した旨の PSLPG マークの表示が義務付けられています。国内では、このマークがない商品を販売することは違法です。

ご購入に際しては、マークの有無をご確認いただくようお願いいたします。



◀カートリッジガスこんろに表示されている PSLPG マーク

## 【参考2】「カセットこんろ」・「カセットボンベ」の経年劣化について

カセットこんろは、使用していなくても時間の経過とともに部品が劣化して、使用時にガス漏れなどが生じるおそれがあります。また、製造から長期間経過したカセットボンベも、ガス漏れやさびなどが生じていないことを確認した上で、早めに使い切ってください。外観に異常がなくても、カセットこんろは10年、カセットボンベは7年を目安に買い替えの検討をお願いします。

### カセットこんろ

製造後、約10年以上が経過したら買い替えの検討をお願いします。

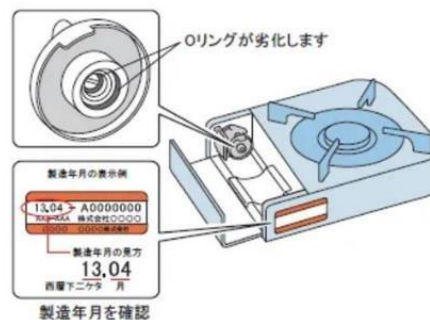
製造年月の表示は、右のイラストを参照してご確認ください。

本体の側面に定格銘板のシールが貼られています。

この中に、**製造年が西暦の数字下二ケタで、製造月が数字二ケタで**、記載されています。

製造年月の見方

13.04…(固体番号)…と記載の場合 ➡ 2013年4月製造品



### カセットボンベ

製造後、約7年以内に使い切ってください。

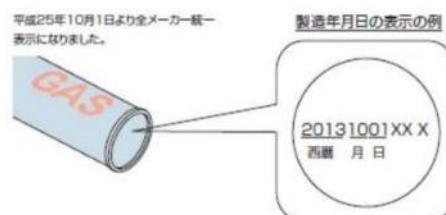
製造年月の表示は、右のイラストを参照してご確認ください。

カセットボンベの缶の底面に、

**製造年月日が8ケタの数字で**印字されています。

製造年月の見方

20131001と記載の場合 ➡ 2013年10月1日製造品



▲使用期限がありますので注意してください

※出典：一般社団法人 日本ガス石油機器工業会「カセットこんろとカセットボンベは経年劣化します」

[https://www.jgka.or.jp/gasusekiyu\\_riyou/anzen/gasu\\_cart\\_keinen/index.html](https://www.jgka.or.jp/gasusekiyu_riyou/anzen/gasu_cart_keinen/index.html)

### 【参考3】「カセットボンベ」の捨て方について

カセットボンベを使い残したまま廃棄すると、ごみ収集車内で押しつぶされ、漏れたガスが車内に充満し、ごみ圧縮時に生じた火花などで引火して火災に至るおそれがあります。

#### カセットボンベを正しく捨てるには？

- ✓ カセットボンベは使い切ってから廃棄してください。
- ✓ 缶を振って「シャカシャカ」音がしなくなるまで消費してください。
- ✓ 廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。

### 【参考4】一般消費者へのアンケート結果

以下に、東京都が都内在住で20歳以上の男女2,000人を対象にインターネットでアンケート調査を実施した結果の一部をご紹介します。

カセットこんろで禁止されている取扱方法の使用経験は「2台並べ」が最も多く5.6%、次いで「異なる調理器の上」が4.3%、「炭起こし」が3.2%でした。年代別では、年齢層が低いほど禁止されている取扱方法の使用経験が多い傾向にあります。



(カセットこんろの)2台並べ



異なる調理器の上



(カセットこんろで)炭起こし

		n=	並べろのセ ツ 2台こ	の異 上 なる 調 理 器	こん しろ で セ ツ 炭 おこ	た ど これ とも は 使 な い し
全体		2,000	5.6	4.3	3.2	90.9
年代	20才代	400	10.8	6.0	5.5	82.3
	30才代	400	11.3	9.8	5.5	83.5
	40才代	400	4.8	3.8	2.8	93.3
	50才代	400	0.5	0.8	1.5	97.3
	60才代以上	400	0.5	1.3	0.8	98.3

(人) (%)

▲「カセットこんろ」で使用が禁止されている取扱い方法の使用経験（年代別）

※出典：東京都生活文化スポーツ局「カセットこんろの安全性に関する調査」28P（令和6年4月）

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/anzen/test/documents/cassettekonro.pdf>